

ストレートワイヤー エッジワイズシステム



McLaughlin システムの エッセンスと症例

監修：古賀正忠 Richard P. McLaughlin

PPAS 矯正歯科臨床研究会の 20 年にわたる、McLaughlin システムについての臨床研究と臨床技術の集大成。前半では、治療の基礎となる McLaughlin メカニクスを中心にした情報のまとめとして、「オルソメカニクスノート」を掲載。後半では研究会有志により、35 の臨床的意義が高い症例を掲載、表現型の不正咬合別にまとめた。

1 Arnett McLaughlin STCA 矯正歯科用14項目
(1)セファロ上上の対準部位とTVL

図1 セファロ上上の対準部位とTVL

患者のメカニクスノート

McLaughlinシステムは、Arnett McLaughlin STCA-Ortho 14 Factors 14項目のセファロ上上の対準部位とTVL (Vertical Angle) を用いて、患者の咬合状態を評価する。このシステムは、患者の咬合状態を評価するための重要なツールである。このシステムは、患者の咬合状態を評価するための重要なツールである。このシステムは、患者の咬合状態を評価するための重要なツールである。

1 Arnett McLaughlin STCA 矯正歯科用14項目
(2)STCA矯正歯科用14項目 編目

14項目(セファロ)	対準部位	日本人平均値(%)
A) 上唇前突(UPR)	SN-MP-ANS	60.00
B) 上唇後突(LPR)	SN-MP-MNS	60.00
C) 上唇傾斜(ULI)	SN-MP-ANS	60.00
D) 上唇傾斜(LLI)	SN-MP-MNS	60.00
E) 上唇傾斜(ULI)	SN-MP-ANS	60.00
F) 上唇傾斜(LLI)	SN-MP-MNS	60.00
G) 上唇傾斜(ULI)	SN-MP-ANS	60.00
H) 上唇傾斜(LLI)	SN-MP-MNS	60.00
I) 上唇傾斜(ULI)	SN-MP-ANS	60.00
J) 上唇傾斜(LLI)	SN-MP-MNS	60.00
K) 上唇傾斜(ULI)	SN-MP-ANS	60.00
L) 上唇傾斜(LLI)	SN-MP-MNS	60.00

図2 STCA矯正歯科用14項目 編目

患者のメカニクスノート

McLaughlinシステムは、Arnett McLaughlin STCA-Ortho 14 Factors 14項目のセファロ上上の対準部位とTVL (Vertical Angle) を用いて、患者の咬合状態を評価する。このシステムは、患者の咬合状態を評価するための重要なツールである。このシステムは、患者の咬合状態を評価するための重要なツールである。このシステムは、患者の咬合状態を評価するための重要なツールである。

Case 15 咬合咬合
齦生と臼歯部交叉咬合を伴う成人反対咬合症例
Adult anterior reversed occlusion with crowding and molar cusp bite

50歳女性 齦生と臼歯部交叉咬合を伴う成人反対咬合症例

12歳、18歳、25歳の咬合状態を示す。齦生と臼歯部交叉咬合を伴う反対咬合。歯列は軽度の歯列矯正を要する。

治療計画

12歳、18歳、25歳の咬合状態を示す。齦生と臼歯部交叉咬合を伴う反対咬合。歯列は軽度の歯列矯正を要する。

治療経過

12歳、18歳、25歳の咬合状態を示す。齦生と臼歯部交叉咬合を伴う反対咬合。歯列は軽度の歯列矯正を要する。

- ・ McLaughlin システムの要約とポイント、明日の臨床のための「オルソメカニクス ノート」。
- ・ 見開きで表示し、治療前後の顔写真、口腔内、エックス線写真が対比され、治療結果が一目でわかる。
- ・ 35 症例を不正咬合別に提示し、知りたい不正咬合治療へ速やかにアプローチ！
- ・ 各症例ごとに key word、分析、診断、治療経過、Treatment Flow、治療のまとめを掲載。
- ・ 治療手順をステップごとに写真で紹介。治療のポイントを解説。

■A4 判 ■オールカラー ■264 ページ ■定価 (本体 18,000 円+税) ISBN 978-4-8160-1272-3
 発行：永末書店
 発売：株式会社松風矯正課

お申し込み・お問い合わせは、株式会社松風営業部矯正課まで
 〒113-0034 東京都文京区湯島3-16-2 松風ESTビル3F TEL 03-3832-1824 FAX 03-3832-7682

CONTENTS

第Ⅰ部 オルソメカニクスノート

1. Arnett McLaughlin STCA 矯正歯科用 14 項目
 - (1) セファロ上の計測部位と TVL
 - (2) STCA 矯正歯科用 14 項目 細目
2. McLaughlin Dental VTO
3. McLaughlin アプライアンスシステム
 - (1) ティップ
 - (2) トルク
 - (3) 多機能性、互換性
4. ブラケット プレースメント
 - (1) ブラケットハイトの決定
 - (2) McLaughlin Bracket Placement Guide
 - (3) Quick IDBS
5. アーチフォーム
 - (1) 3 種類のアーチフォームとその応用
 - (2) アーチフォームの割合とアーチワイヤーの在庫管理
6. レベリングとアライニング
7. オーバージェットーオーバーバイト コントロール
 - (1) ディープバイト改善のメカニクス
 - (2) オープンバイト改善のメカニクス
8. スペースクロージングとスライディングメカニクス
9. フィニッシング
 - (1) フィニッシングの課題
 - (2) 歯のサイズのコーディネーションと IPR

第Ⅱ部 症例集

叢生

- Case 1 口元の突出感を有する Angle I 級叢生症例
 Case 2 上顎側切歯の口蓋側転位を伴う Angle I 級叢生症例
 Case 3 正中の不一致が認められる叢生症例
 Case 4 正中のずれを伴う叢生症例
 Case 5 左側側切歯・犬歯部に交叉咬合を伴う Angle I 級叢生症例
 Case 6 上下顎前歯部叢生症例

上顎前突

- Case 7 前歯部叢生を伴う上顎前突症例
 Case 8 下顎前歯部の叢生を伴う上顎前突症例
 Case 9 上顎前突非抜歯症例
 Case 10 過蓋咬合を伴う上顎前突症例
 Case 11 著しい上顎前歯の突出を認める Angle II 級 1 類症例

反対咬合

- Case 12 臼歯部交叉咬合を伴う Angle III 級症例
 Case 13 上顎犬歯唇側転位を伴う骨格性反対咬合症例
 Case 14 上顎両側犬歯の欠如を伴う反対咬合症例
 Case 15 叢生と臼歯部交叉咬合を伴う成人反対咬合症例

開咬

- Case 16 前歯部開咬を伴う Angle II 級症例
 Case 17 上顎前歯部に叢生を伴う Angle I 級開咬症例
 Case 18 顎関節症を伴うハイアングル開咬症例
 Case 19 舌癖を有する Angle II 級の開咬症例
 Case 20 オトガイ部の緊張を伴う開咬症例
 Case 21 上顎両側犬歯の埋伏、臼歯の交叉咬合を伴う骨格性開咬症例

過蓋咬合

- Case 22 過蓋咬合、前歯部の叢生を伴う Angle II 級 2 類症例
 Case 23 Angle II 級 2 類の過蓋咬合症例

上下顎前突

- Case 24 Angle I 級上下顎前突症例
 Case 25 Angle II 級上下顎前突症例
 Case 26 厚い口唇と上下顎前歯の突出を伴う Angle I 級症例
 Case 27 前歯部開咬を有する Angle I 級の上下顎前突症例

2Phase

- Case 28 叢生を伴う成長期の上顎前突非抜歯症例
 Case 29 上顎前歯部に過剰歯を伴う成長期の重篤な上顎前突症例

外科症例

- Case 30 骨格性反対咬合を呈する Angle III 級症例
 Case 31 著しい骨格性下顎前突症を非抜歯にて行った外科的矯正症例
 Case 32 顔貌の非対称を伴う Angle III 級外科症例
 Case 33 下顎骨の後退を伴う上顎前突 Angle II 級 1 類の外科症例
 Case 34 顎関節の変形と下顎の後退を伴う Angle II 級 1 類外科的矯正症例
 Case 35 下顎頭の吸収と気道の狭窄傾向を伴う Angle II 級開咬症例

申込書	ストレートワイヤーエッジワイズシステム — McLaughlin システムのエッセンスと症例 —	冊
	医院名 / お名前	
	お電話番号	
	ご住所 〒	
		■お取り扱いは ■発売 株式会社松風営業部矯正課 TEL 03-3832-1824 / FAX 03-3832-7682